

KDDI ホスティングサービス G120

KDDI ホスティングサービス G200

WordPress インストールガイド

(ご参考資料)

rev.1.2

KDDI 株式会社

(目次)

1. WordPress インストールガイド.....	3
1-1 はじめに.....	3
1-2 制限事項.....	3
1-3 サイト初期設定.....	4
2. WordPress のインストール(コントロールパネル付属インストーラより).....	7
3-1 はじめに.....	10
3-2 データベースの作成.....	10
3-3 WordPress のインストール.....	12

1. WordPress インストールガイド

1-1 はじめに

「KDDI ホスティングサービス G120」・「KDDI ホスティングサービス G200」は、WordPress のインストールが可能です。ここでは、コントロールパネルからのインストール方法と、手動インストールの方法をご説明致します。

1-2 制限事項

- ・ WordPress のインストールは、コントロールパネルからでも行なえますが、より詳細に設定する場合（任意のパスや URL をドメイン名にする場合）は、手動インストールすることでその設定が可能になります。
- ・ 本サービスでは、WordPress の機能や操作方法のサポートは行なっておりません。書籍またはインターネットをご参考にしてください。
- ・ 本書は、DNS サーバおよびレコードが設定されていることを前提としております。
DNS 切り替え前のお客さまはセットアップできないことがございますが、その際は、クライアントパソコンの hosts ファイルを「KDDI ホスティングサービス」の IP アドレスに設定してください。（hosts ファイルの操作については、サポートしておりませんので、Microsoft のサイトもしくは書籍などをご参考にしてください。ホスティングサービスの IP アドレスの確認方法は、『セットアップガイド』をご参考してください）

1-3 サイト初期設定

WordPress をご利用になるには、事前にウェブサーバを起動しておく必要があります。

ウェブサーバの起動については、コントロールパネルでウェブホスティングを追加しておく必要があります。

※既にウェブホスティングを設定済の場合は必要ありません。

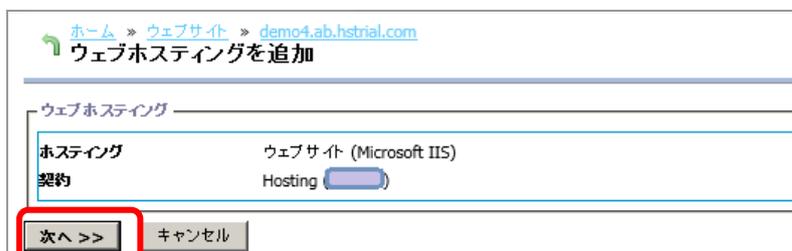
- (1) コントロールパネルにログインし、『ウェブサイト』欄のプルダウンメニューの中から該当するドメインを選択して [ウェブサイト管理] をクリックします。



- (2) 『ホスティングサービス』欄の『ホスティングを追加する』をクリックします。



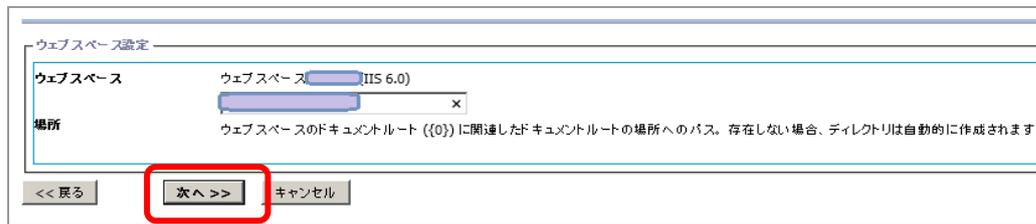
- (3) 『ウェブサイト(Microsoft IIS)』が表示されていることを確認し [次へ] をクリックします。



(4) ドキュメントルートの場合へのパスを指定し[次へ] をクリックします。

ドメイン・サブドメインを追加する場合は、任意のディレクトリ名を入力します。

デフォルトではドメイン名のディレクトリが http の下に作成されます。通常はデフォルトのままです。



ウェブスペース設定

ウェブスペース IIS 6.0

場所 ウェブスペースのドキュメントルート {{0}} に関連したドキュメントルートの場所へのパス。存在しない場合、ディレクトリは自動的に作成されます。

<< 戻る **次へ >>** キャンセル

(5) 次の画面を確認して[次へ] をクリックします。

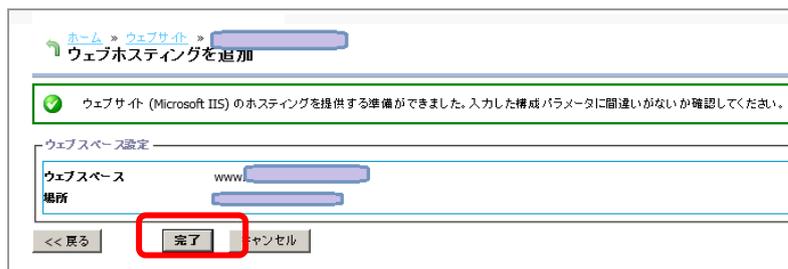


ウェブサイトの設定

IP アドレスタイプ 共有

<< 戻る **次へ >>** キャンセル

(6) 確認画面が表示されます。設定した内容を確認し[完了]をクリックします。



ホーム > ウェブサイト > ウェブホスティングを追加

ウェブサイト (Microsoft IIS) のホスティングを提供する準備ができました。入力した構成パラメータに間違いがないか確認してください。

ウェブスペース設定

ウェブスペース www. []

場所 []

<< 戻る **完了** キャンセル

(7) デフォルトページの優先順位を確認・設定します。

『ウェブサイトツール』欄の[ウェブサイトの設定]を選択します。



ウェブサイトツール

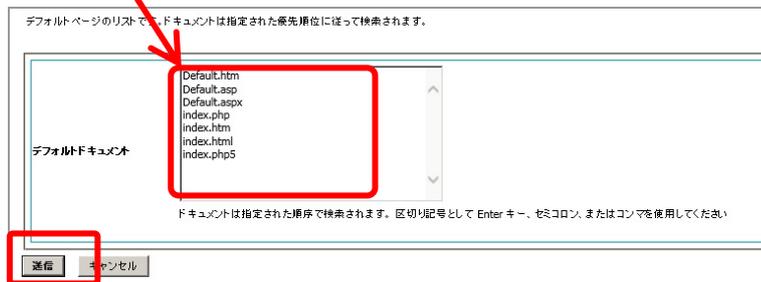
- ファイルマネージャ
ファイルとディレクトリを管理します。
- ウェブサイト管理者
このページを使用して、このウェブサイトを管理できるサービスユーザーを作成します。
- ウェブサイトの設定
このセクションではウェブサイトの設定/管理を行うことができます。

- サイトアプリケーション
新しいアプリケーションをインストールし、既存のアプリケーションを管理します。
- セキュリティの設定
ウェブホスティングに関するセキュリティ情報。
- 仮想ディレクトリ
ウェブサイトの仮想ディレクトリを作成および管理します。

- マッピング
ウェブサイトのページマッピングを作成します。
- SSL
ウェブサイトの SSL をセットアップします。
- DSN の管理
ODBC ユーザーデータソースは、指定のデータプロバイダに接続する方法が保管されています。

(8) 『デフォルトドキュメント』タブをクリックします。

『index.php』ファイルの優先順位を『index.html』よりも高めます。(『優先順位』の値が小さいほど優先度は高く設定されています) [編集]ボタンをクリックすると、優先順位を設定できます。



2. WordPress のインストール(コントロールパネル付属インストーラより)

コントロールパネルに付属しているインストーラより WordPress をインストールします。

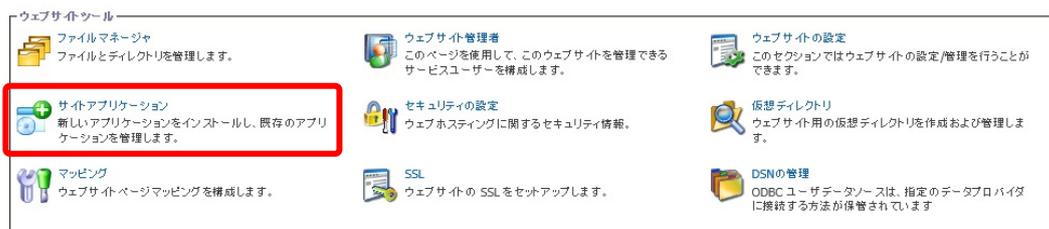
※本マニュアルは、<http://www.お客さまドメイン名/wp/> の URL でインストールした場合の手順をご紹介します。

- (1) 『ActivePerl』がオンになっていることを再確認します。
『ウェブサイトツール』欄の[ウェブサイトの設定]を選択します。



オンになっていない場合は、[編集]ボタンをクリックして、チェックを入れて[送信]ボタンをクリックして設定します。

- (2) 『ウェブサイトツール』欄の[サイトアプリケーション]を選択します。



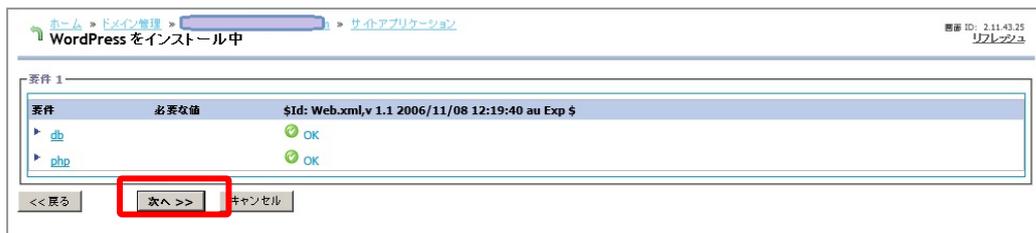
(3) 下記、画面が表示されたら[インストール]ボタンをクリックします



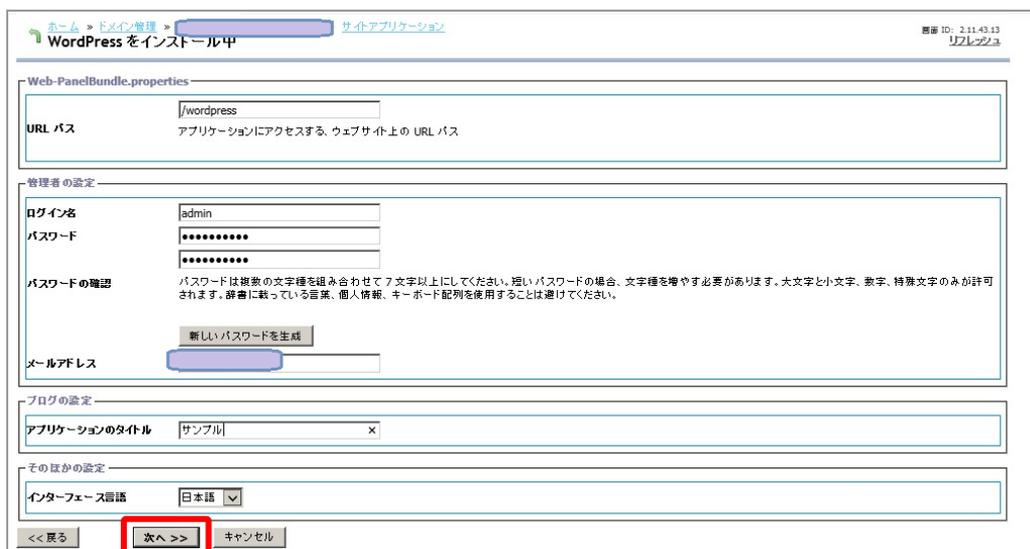
(4) 『アプリケーション』から『WordPress』を選択します。



(5) 『db』、『php』が[OK]と表示されているのを確認し、[次へ]をクリックします。



(6) インストールするパス、管理者の設定、ブログの設定を行ない、[次へ]をクリックします。



(7) 確認画面が表示されます。よろしければ[完了]をクリックします。

WordPress をインストール中

以下のデータをチェックして、「完了」ボタンを押して処理してください

バージョン: 2.8.4-15
ドメイン: [redacted]
URL パス: /wordpress/

管理者の設定

ログイン名: admin
パスワード: [redacted] (パスワードを表示する)
メールアドレス: [redacted]

ブログの設定

アプリケーションのタイトル: サンプル

その他の設定

インターフェース言語: 日本語

条件 1

要件: [redacted] (必要收購)

<<戻る [完了] キャンセル

(8) 『ステータス』がインストール中になり、インストールが完了すると『インストール済』と表示します。
(表示の更新は、自動では行なわれませんので、『リフレッシュ』をクリックしてください)

ID	アプリケーション名	URL パス	バージョン	アップグレード可能	ステータス	最後の問題	エントリーポイント
11322	WordPress	/wordpress	2.8.4-15	いいえ	インストール中		ログイン

ID	アプリケーション名	URL パス	バージョン	アップグレード可能	ステータス	最後の問題	エントリーポイント
11322	WordPress	/wordpress	2.8.4-15	いいえ	インストール済		ログイン

(9) (8)にて『エントリーポイント』の『ログイン』をクリックした URL に、『/wp-admin』を追加すると、WordPress の管理画面へのログイン画面を表示します。



WordPress

ユーザー名: [input]
パスワード: [input]

ログイン情報を記憶 [ログイン]

パスワードをお忘れですか?

※ご注意

WordPress の機能や管理画面の操作方法は、サポート対象外となります。
詳細については、書籍またはインターネットなどをご活用ください。

3. WordPress のインストール(手動インストール)

3-1 はじめに

ウェブサーバの初期設定『1-3 サイトの初期設定』が実施されていることを前提に以下手順を記します。

3-2 データベースの作成

WordPress で利用するデータベースを作成しておきます。

- 1) コントロールパネルにログインし、『追加サービス』欄の[データベース]をクリックします。



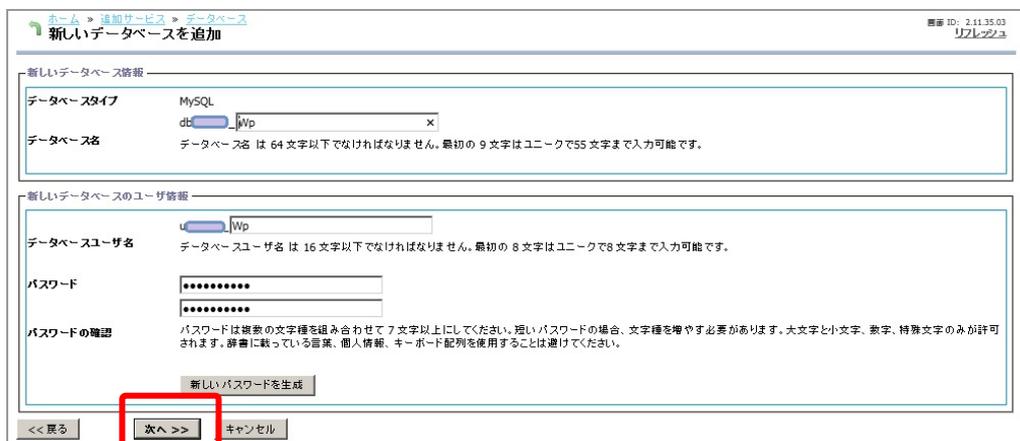
- 2) [新しいデータベースを追加]をクリックします。



- 3) データベースタイプに『MySQL (MySQL5 databases)』を選択して、[次へ]をクリックします。



- 4) データベースの情報および、ユーザ情報を設定し[次へ]をクリックします。



- 5) 設定情報を確認し、よろしければ[完了]をクリックします。

新しいデータベースを追加

新しいデータベースを作成する準備ができました。以下のデータが正しいかどうか確認してください

新しいデータベース情報

データベースタイプ MySQL
データベース名 db256484_Wp
ディスクスペースのリソース Diskspace [MySQL5]

新しいデータベースのユーザ情報

データベースユーザー名 u256484_Wp
パスワード *****

<<戻る 完了 キャンセル

- 6) ステータスが『作成中』から『準備完了』になればデータベースの作成が完了です。
(画面の更新は自動では行なわれません。[リフレッシュ]ボタンで更新されます。更新には数分かかります)

新しいデータベースを追加 削除

合計 1 件

ID	データベース名	タイプ	ステータス
45791	db256484_Wp	MySQL	準備完了

合計 11 件

ページごとの表示件数: 25 50 100

3-3 WordPress のインストール

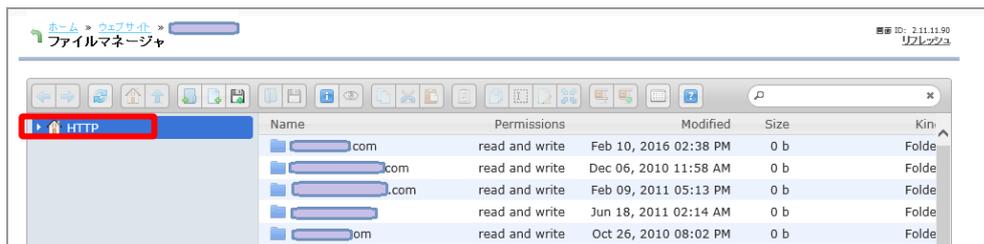
※本マニュアルは、http://www.お客さまドメイン名/wp/の URL でインストールした場合の手順をご紹介します。

(1) インストール先フォルダを作成します。

コントロールパネルにログインし、『ウェブサイト』欄のプルダウンメニューの中から該当するドメインを選択しての[ファイルマネージャ]をクリックします。



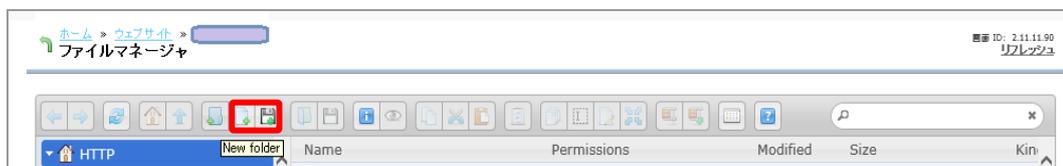
(2) 『HTTP』をクリックし、WordPress をインストールするドメインのフォルダを選択します。



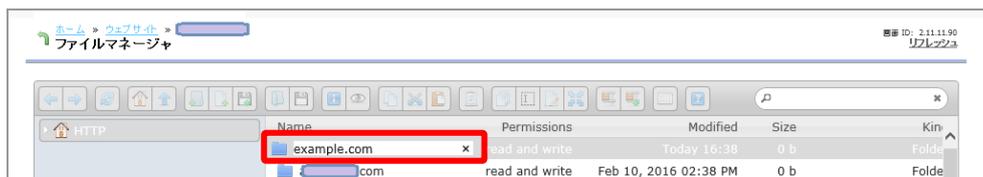
*新しくフォルダを作成する場合、下記の手順になります。

(本マニュアルでは、『example.com』をサンプルにご説明致します。)

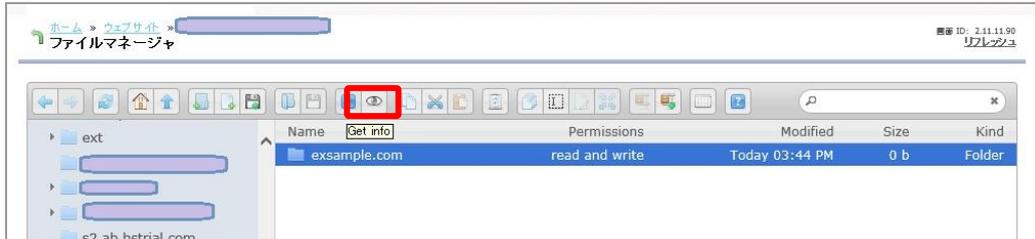
①『New folder』ボタンをクリックします。



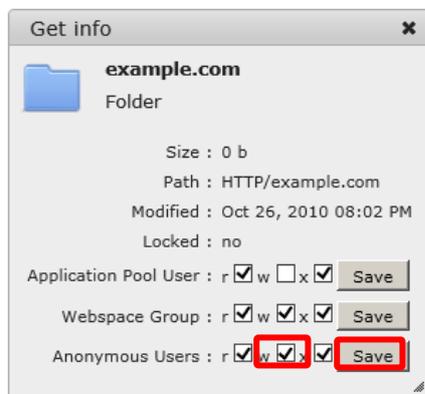
②作成するフォルダ名『example.com』を入力します。



- (3) インストール先のフォルダに対し [Anonymous Web ユーザ] の書き込み権限を付与します。
『Get info』ボタンをクリックします。



- (4) [Anonymous Web ユーザ]の書き込み権限にチェックを入れて、[SAVE]をクリックします。
(画面は × で閉じます)

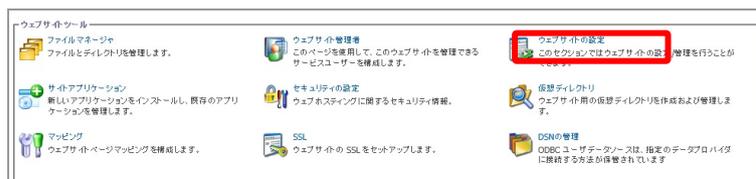


- (5) インストール用ファイルに解凍先フォルダ(サーバパス)を設定するために情報を確認します。

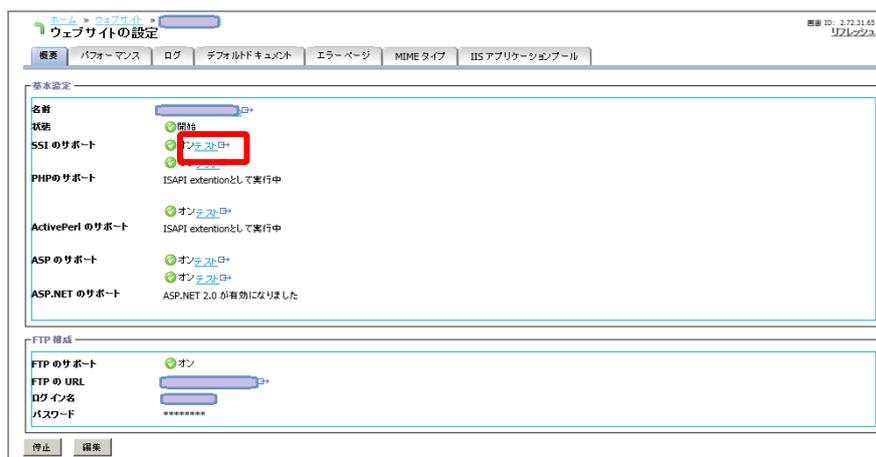
- ①コントロールパネルにログインし、『ウェブサイト』欄のプルダウンメニューの中から該当するドメインを選択して[ウェブサイト管理]をクリックします。



- ②『ウェブサイトツール』欄の[ウェブサイトの設定]を開きます。



③『PHP のサポート』欄の[テスト]をクリックし、『APPL_PHYSICAL_PATH』をご確認いただきます。

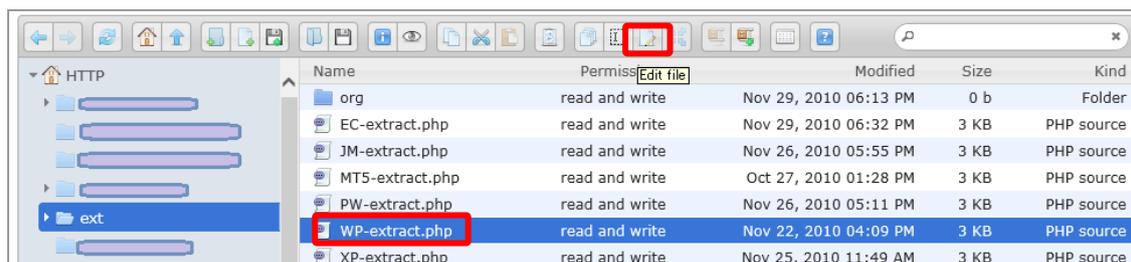


APPL_PHYSICAL_PATH D:\CustomerData\webspaces\workspace_00126071\wwwroot\

このパス情報を(7)にて設定致します。(パス情報はお客さまによって上記とは異なります)

(6) インストール用ファイルを編集致します。

HTTP 内の『ext』フォルダ内にある[WP-extract.php]のファイルを選択し、『Edit file』ボタンをクリックします。



※ [WP-extract.php]のファイルが無い場合は [下記のサイト](#)よりダウンロードします。

(<http://media3.kddi.com/extlib/files/pub/hosting-g/application/zip/WP-extract.zip>)

ダウンロードした圧縮ファイルを解凍し、テキストエディタで開きます。

(テキストエディタが無い場合は、メモ帳へドラッグ & ドロップすると開くことができます)

(7) (6)で開いたファイルに(5)で確認した解凍先ディレクトリに修正して上書き保存します。

開いたファイルの(赤文字・太字部分)が修正箇所になります。

```
////////CONFIG////////  
define('ARCHIVE_URL', 'http://apps.kddihs.jp/wordpress/wordpress.zip');  
define('PATH_TO_EXTRACT', 'D:¥CustomerData¥webspaces¥webpace_*****¥wwwroot¥解凍先ディレクトリ');  
////////CONFIG////////
```

※以下のキャプチャは、example.com というドメイン名の場合に、

D:¥CustomerData¥webspaces¥webpace_***¥wwwroot¥example.com¥wp**

にインストールする場合は、

D:¥CustomerData¥webspaces¥webpace_***¥wwwroot¥example.com**

と入力します

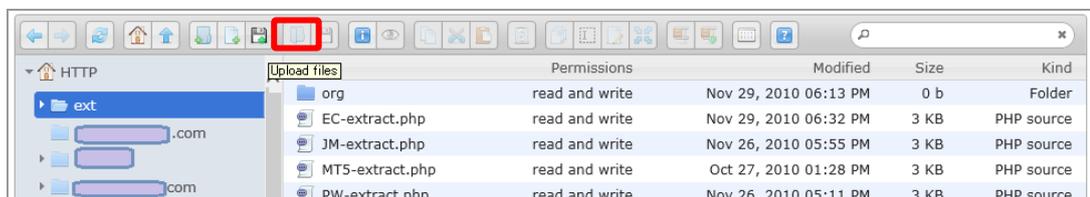
```
1 <?php+  
2 ↓  
3 //////////CONFIG////////↓  
4 define('ARCHIVE_URL', 'http://apps.kddihs.jp/wordpress/wordpress.zip');↓  
5 define('PATH_TO_EXTRACT', 'D:¥CustomerData¥webspaces¥webpace *****¥wwwroot¥解凍先ディレクトリ');↓  
6 //////////CONFIG////////↓  
7 ↓  
8 $pattern = '|.+/(.+)$|';↓  
9 preg_match($pa  
10 define('FILE_N  
11 ↓
```

記述例)

D:¥CustomerData¥webspaces¥webpace_0012607¥wwwroot¥example.com

※(6)でダウンロードしたファイルを編集した場合はアップロードします。

①ファイルマネージャーで HTTP 内の『ext』フォルダを選択し、『Upload files』ボタンをクリックします。



②保存してある『WP-extract.php』ファイルを選択します。

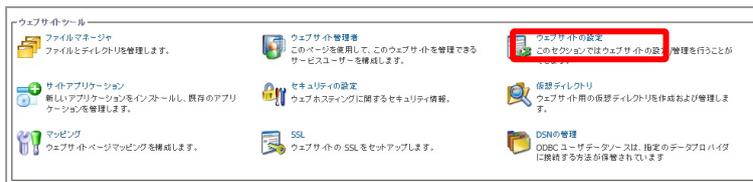


(8) 『WP-extract.php』を実行します。

- ①コントロールパネルにログインし、『ウェブサイト』欄のプルダウンメニューの中から該当するドメインを選択して[ウェブサイト管理]をクリックします。



- ②『ウェブサイトツール』欄の[ウェブサイトの設定]を開きます。



- ③『名前』欄のリンクをクリックします。



- ④表示されるブラウザのアドレスを『http://d****.kddihs.jp/ext/WP-extract.php』と修正しアクセスします。



(9) インストールの準備のためのスクリプトが実行されます。

『Start』から『Done』まで大量の結果が出力されます。(千行以上)

```
Start
get http://[redacted].jp/wordpress/wordpress.zip
file -> D:\CustomerData\webspaces\workspace_[redacted]\wwwroot\wwwroot_[redacted].com\wordpress.zip
extract dir -> D:\CustomerData\webspaces\workspace_[redacted]\wwwroot\wwwroot_[redacted].com
D:\CustomerData\webspaces\workspace_[redacted]\wwwroot\ab.hstrial.com\wordpress/index.php
D:\CustomerData\webspaces\workspace_[redacted]\wwwroot\ab.hstrial.com\wordpress/license.txt
D:\CustomerData\webspaces\workspace_[redacted]\wwwroot\ab.hstrial.com\wordpress/readme-ja.html
. . .
D:\CustomerData\webspaces\workspace_[redacted]\wwwroot\wwwroot_[redacted].com\wordpress/wp-trackback.php
D:\CustomerData\webspaces\workspace_[redacted]\wwwroot\wwwroot_[redacted].com\wordpress/xmlrpc.php
Done..
```

※ご参考

『Start』から『Done』まで 4 行程度(数行)しか出力されていない場合は、正しく動作しておりません。

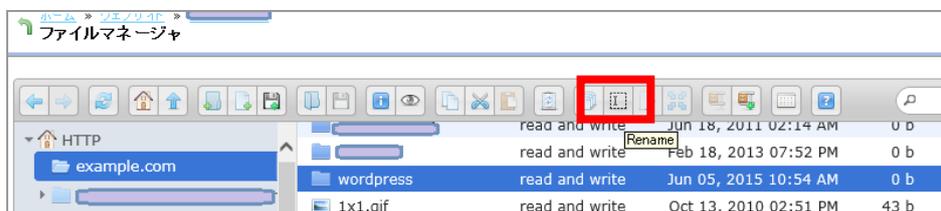
インストールしようとしているディレクトリ(ここでは example.com)に『Anonymous Web ユーザ』の書き込みアクセス権限が付与されているかどうか((4)の作業)をご確認ください。

(10) 展開されたディレクトリの名前を変更します。

コントロールパネルにログインし、『ウェブサイト』欄のプルダウンメニューの中から該当するドメインを選択しての[ファイルマネージャ]をクリックします。

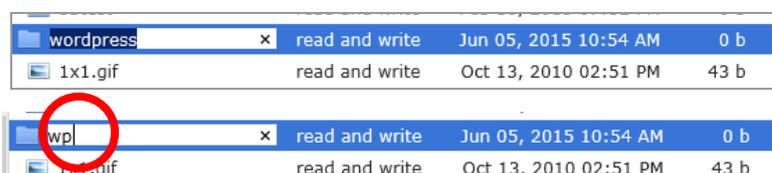


(11) HTTP 内の『example.com』フォルダ内にある『Wordpress』フォルダを選択し『Rename』ボタンをクリックします。



(12) 選択しディレクトリ名を変更します。

本マニュアルでは、『http://www.example.com/wp/』としてインストールするため、wp と入力します。



(13) WordPress へアクセス致します。

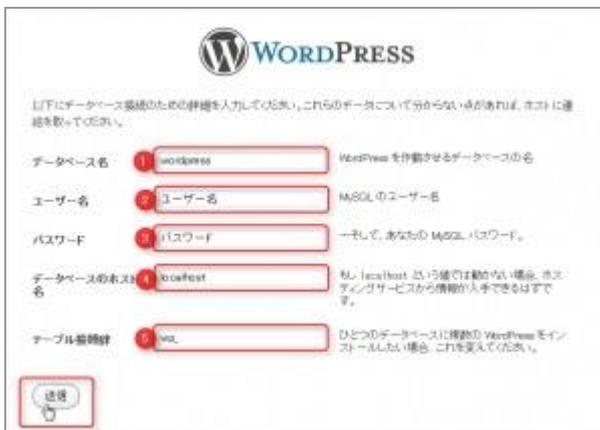
ブラウザで『http://www.example.com(お客さまのドメイン名)/wp/』へアクセスし、ウィザードに従ってインストールします。下記画面で、『設定ファイルを作成する』をクリックします。



(14) 『次に進みましょう！』をクリックします。

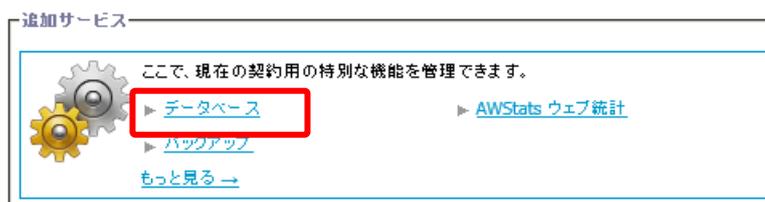


(15) データベースの設定をして送信ボタンを押します。

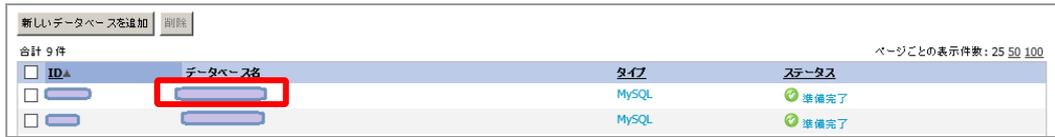


※設定内容は、下記の手順で確認できます。

①コントロールパネルにログインし、『追加サービス』欄の[データベース]をクリックします。



②一覧にある該当データベースをクリックします。



③”全般”タブ・”ユーザ”タブそれぞれで必要な情報が確認できます。



	WordPress での項目名	入力値:コントロールパネルでの参考個所
①	データベース名	[全般]タブ内の『データベース名』
②	ユーザ名	[ユーザ]タブ内の『ユーザ名』
③	パスワード	『ユーザ』で設定したパスワード(ユーザ名をクリックし、[編集]ボタンをクリックすると表示されます)
④	データベースのホスト名	[全般]タブ内の『内部ネットワークのホスト名』
⑤	テーブル接頭辞	任意(デフォルト値『wp』を変更したい場合のみ)

(16)『この部分のインストールは無事完了しました。・・・』と表示されたら、[インストールの実行]をクリックします。



(17) サイトのタイトル、ユーザ名、パスワード、メールアドレスなどを入力し、[WordPress をインストール]をクリックします。

(ここで入力した値は、WordPress の管理機能を使って後で変更することも可能です)



(18)『成功しました!』と表示されたら完了です。[ログイン]を押すと、管理画面へのログイン画面が開きます。



※ご注意

WordPress の機能や管理画面の操作方法は、サポート対象外となります。
詳細については、書籍またはインターネットなどをご活用ください。